

西宮市下水道事業経営戦略に基づく取組みの評価報告書 概要版〈令和4年度（2022年度）〉

【第4章 推進施策と主な取組み】（西宮市下水道事業経営戦略 P.15～22）

浸水対策・雨水整備、合流式下水道の改善、高度処理、ストックマネジメント計画に基づく改築更新などの取組みについては、以下の評価結果のとおり**14の取組み中、評価Aが10、評価Bが3、評価完了が1**となっており、**着実に成果があがっています。**

健全な下水道経営に向けてのうち「企業債償還元金対減価償却額比率」「企業債残高」「企業債償還元金対使用料収入比率」については、昨年度から改善または計画どおり改善ができていることから評価をBからAに変更しました。

指標	評価
1. 浸水対策・雨水整備	
10年確率降雨対策施設整備率	A
オンサイト貯留施設整備済み箇所数	A
2. 合流式下水道の改善	
きょう雑物削減のためのスクリーン目幅を縮小した施設数	B
3. 高度処理	
高度処理事業進捗率	A
4. スtockマネジメント計画に基づく改築更新	
管渠改善率	A
5. 地震対策	
施設耐震化率	A
重要な幹線等の耐震化率	A
6. 下水道資源・施設の有効利用	
下水道資源・施設の有効利用	A
7. 市民と共に歩む下水道	
水洗化率	B
8. 健全な下水道経営に向けて	
企業債償還元金対減価償却額比率	A
企業債残高	A
一般排水資本費にかかる基準外繰入	完了
流動比率	B
企業債償還元金対使用料収入比率	A

A「順調」…問題なく進展している

B「概ね順調」…具体的な成果は出ていないが協議や調査などを進めている、または計画期間終了までに目標を達成できる見込みである

C「遅れている」…進展が見られない、または計画期間終了までに目標を達成できる見込みがない

【第5章 投資・財政計画】（西宮市下水道事業経営戦略 P.23～27）

(1) 収益的収支

収益的収入は、長期前受金戻入で1億600万円の増となったものの、雨水処理負担金で1億8,300万円の減となったこと等により、対計画比で2億100万円の減となりました。

一方、収益的支出は、減価償却費や電気料金の高騰等による委託料・動力費の増等の影響があったものの、支払利息で2億1,200万円の減等になったことにより、対計画比より1,900万円の減となりました。

この結果、純利益は対計画比より1億8,100万円の減となりました。

(単位：千円、税抜き)

項目	令和4年度 (2022年度)			増減理由 投資・財政計画との差が10%以上の項目 または特筆すべき事項	
	[計画] A	[決算] B	差 B - A		
収益的収入	営業収益	8,135,680	7,893,676	▲ 242,004	
	下水道使用料	5,330,401	5,265,215	▲ 65,186	
	雨水処理負担金	2,516,457	2,333,425	▲ 183,032	
	他会計負担金	252,720	258,392	5,672	
	その他の営業収益	36,102	36,644	542	
	営業外収益	3,412,181	3,453,865	41,684	
	受取利息	3	4	1	
	国庫補助金	1,000	158	▲ 842	
	他会計補助金	622,996	531,885	▲ 91,111	資本費分にかかる支払利息が減少したため
	長期前受金戻入	2,766,424	2,872,903	106,479	
雑収益	21,758	48,915	27,157	スクラップ等の不用品売却収益が増加したため	
特別利益	500	0	▲ 500		
計 (A)	11,548,361	11,347,541	▲ 200,820		
収益的支出	営業費用	10,230,101	10,365,540	135,439	
	管渠費	241,069	174,982	▲ 66,087	修繕費及び委託料が減少したため
	ポンプ場費	519,969	467,912	▲ 52,057	修繕費が減少したため
	処理場費	1,765,557	1,861,031	95,474	
	流域下水道維持管理負担金	444,142	536,528	92,386	県事業にかかる維持管理経費が増加したため
	業務費	265,031	265,366	335	
	総係費	267,507	297,512	30,005	退職給付費等の人件費が増加したため
	減価償却費	6,481,150	6,656,277	175,127	
	資産減耗費	245,676	105,932	▲ 139,744	除却資産が減少したため
	営業外費用	1,005,519	854,373	▲ 151,146	
	支払利息	924,658	712,745	▲ 211,913	企業債の借入利率が計画を下回ったため
	長期前払消費税額償却	80,861	96,995	16,134	控除対象外消費税が増加したため
	雑支出	0	44,633	44,633	
	特別損失	1,818	0	▲ 1,818	
予備費	1,818	0	▲ 1,818		
計 (B)	11,239,256	11,219,913	▲ 19,343		
収益的収支差引額 (A)-(B)	309,105	127,628	▲ 181,477		

(2) 資本的収支及び資金残高

資本的収入は、国庫補助金などの減により対計画比で12億7,800万円の減となり、これに伴い建設改良事業の見直しを行ったため、資本的支出は対計画比13億1,600万円の減となりました。

この結果、収支不足額は対計画比より3,700万円の減となりました。

(単位：千円、税込み)

項目	令和4年度 (2022年度)			増減理由 投資・財政計画との差が10%以上の項目 または特筆すべき事項	
	[計画] A	[決算] B	差 B - A		
資本的収入	企業債	3,362,800	2,739,500	▲ 623,300	
	公共下水道事業債	3,284,800	2,666,700	▲ 618,100	起債対象事業が減少したため
	流域下水道事業債	78,000	72,800	▲ 5,200	
	資本費平準化債	0	0	0	
	国庫補助金	3,131,200	2,451,994	▲ 679,206	国からの交付額が要望を下回ったため
	他会計補助金	212,261	211,946	▲ 315	
	工事負担金	12,529	39,602	27,073	県との共同施設の工事負担金が増加したため
	長期貸付金返還金	2,195	0	▲ 2,195	
基金運用収入	100	0	▲ 100		
計 (a)	6,721,085	5,443,042	▲ 1,278,043		
資本的支出	建設改良費	6,832,125	5,495,188	▲ 1,336,937	
	固定資産購入費	5,116	2,914	▲ 2,202	
	公共下水道整備費	6,615,286	5,308,464	▲ 1,306,822	事業計画の変更により減少したため
	流域下水道等整備費	211,723	183,810	▲ 27,913	県事業にかかる償還負担金が減少したため
	企業債償還金	4,496,975	4,530,975	34,000	
	投資	10,700	0	▲ 10,700	水洗便所貸付申請がなかったため
予備費	2,000	0	▲ 2,000		
計 (b)	11,341,800	10,026,163	▲ 1,315,637		
資本的収支差引額 (a)-(b)	▲ 4,620,715	▲ 4,583,121	37,594		

(単位：千円)

資金残高	1,402,952	1,719,924	316,972
------	-----------	-----------	---------